

翔光

(題字は齋藤知事)



全但バス株式会社は、1917年に創業され、今年で108年目を迎える。同社は地域貢献・未来創造を企業理念とし、地域の大切な輸送手段として事業活動をしている。

創業者の田中 寛氏は兵庫県商工会連合会の初代会長であり、当会にとっても縁深い人物である。兵庫県下の様々な分野で積極的に地域貢献をされ、その志は現在でも受け継がれている。

特に2025年1月には、未来を見据えた自動運転バスへの取組として実証実験等も実施するなど、今後の地域課題の解決にむけて先進的な取り組みにも力を入れている。(詳細はP4)



自動運転バスEVバス「MiCa」
Auve Tech社(エストニア共和国)製
時速約19キロメートルで走行。
＜実証実験期間＞
2025年1月27日～3月31日

CONTENTS

- 02 | 理事会・臨時総会／管理者研修会他
03 | ひょうごいいね! お店表彰
04-05 | あなたのまちの元気な企業・養父市商工会情報

- 06-07 | 人事異動一覧／県連事務局機構図／新規採用職員紹介
08 | ひょうご産業SDGs推進宣言／SDGsにかかるエッセンス他

令和6年度 第4回 理事会・臨時総会を開催

3月27日、ホテル北野プラザ六甲荘において、令和6年度第4回理事会・臨時総会を開催した。理事会では12議案が提出され、全議案が承認された。

続いて行われた臨時総会では、次の5議案について協議し承認された。

第1号議案 定款の一部改正について

第2号議案 商工貯蓄共済業務規約の一部改正について

第3号議案 令和6年度収支補正予算設定について

第4号議案 令和7年度事業計画及び収支予算設定について

第5号議案 令和7年度借入金最高限度額の設定について
その後、表彰式が行われ、令和6年秋の叙勲褒章を受章さ



れた豊岡市商工会 田岡会長、川西市商工会 國津会長へお祝いが贈呈された。

また、推進目標を達成した商工会に対し、県連会長表彰並びにひょうご共済理事長表彰が授与された。受賞した商工会は次のとおり。

兵庫県商工会連合会会長表彰

全国商工会会員福祉共済部門（会員数3%純増達成）
多可町商工会・市川町商工会・香美町商工会

ひょうご共済理事長表彰

稲美町商工会・豊岡市商工会・朝来市商工会
丹波市商工会・丹波篠山市商工会

第2回 商工会管理者研修会・第4回 事務局連絡会議

2月14日、事務局長を対象に第2回商工会管理者研修会・第4回事務局連絡会議を開催した。

管理者研修会では、はじめに兵庫県産業労働部地域経済課課長の福田靖久氏より兵庫県の令和7年度における重点施策についての講義を頂いた。特にSDGs経営の取組支援として、『GX診断補助金』を創設し、認証企業へのステップアップの後押しを実施していく事が述べられた。

次に全国商工会連合会組織支援部部長の廣田実氏より、令和7年度実施の小規模事業者対策予算概要説明があり、今後の小



へ 登壇する福田課長

規模企業振興基本計画の見直しについて講義を頂いた。見直し案では、変化した経営環境を踏まえ、自走化をキーワードとした各種取り組みによる経営力向上を目指すこと。事業者が主体的に事業継続力の強化を取り組むものにシフトすること。経営計画策定と一体でBCP策定等を促進すること。商工会等支援機関の体制整備に関し、自治体のバックアップも得ながら体制強化に取り組んでいくこと。などが盛り込まれる予定である事を述べられた。

事務局連絡会議では、はじめに上郡町商工会、丹波市商工会から「商工会プランの取り組み状況」について発表があった。

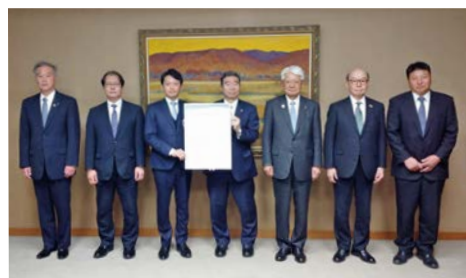
その後県連合会より、商工貯蓄共済融資制度の取り扱い方針、育児休業等及び介護休業等に関する規程の改正、商工会における不正事案発生状況、及び各種補助事業の申請・採択状況等について報告を行った。

令和6年度 兵庫県政労使会議の開催

2月5日兵庫県庁において、令和6年度兵庫県政労使会議が開催された。兵庫県、厚生労働省、経済団体、労働者団体の代表者が出席し、県商工会連合会からは小寺会長が参加した。

会議では、成長型経済の実現に向け、兵庫経済の好循環を加速させるための意見交換が行われた。その結果、昨年度に続き、「物価上昇を上回る賃上げ」「労務費等の適切な価格転嫁」「生産性の向上」「投資の拡大」に、「オール兵庫」で取り組むことが共同メッセージとして採択された。

本会議を通じて、官民が連携し、地域経済の持続的発展と雇用環境の安定化に向けた取組を進めることが改めて確認された。



私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、地域金融機関です。

“けんしん”は 経営者の皆さまを応援します

イヘントキャラクター「ホッピー」 ■詳しくは窓口へおたずねください。

いまでも これからも いつまでも
兵庫県信用組合
けんしん

〒650-0023 神戸市中央区栄町通 3-4-17
TEL 078-391-6315
<https://www.hyogokenshin.co.jp/>

未来を変えていく、健康増進型保険。

住友生命 Vitality

住友生命保険相互会社 神戸支社
〒650-0031 神戸市中央区東町126番地
神戸シルクセンタービル7F
TEL: 078-391-3229

“住友生命「Vitality」”スペシャルサイト
<https://vitality.sumitomolife.co.jp/>

第10回

ひょうごいいね! お店表彰



「ひょうごいいね! お店表彰」は県内商店街等に立地する個性あふれる優良店舗を選定し、兵庫県および兵庫県商店街連合会が表彰する制度である。3月26日に神戸市・兵庫県看護協会において表彰式が行われた。県下商工会地域の受賞6店舗は、以下のとおり。



へ 左から受賞者集合写真、大賞を受賞したい草ランドかさや（三田市）、UTSURI TSUCHIYA ANNEX（豊岡市）

大賞

特色商品部門

しい苺ランドかさや（三田市）

代表者 中西 孝之



1899年創業（しい苺狩りは1976年より）し、原木椎苺狩り体験、バーベキュー、いちご狩り体験などができる観光農園として多くの方に愛されている。また、かさやいちご園で収穫される「草姫」は、いちご博2024で関西唯一の銀賞を受賞した。

三田市内だけでなく、市外からも多くの方々にお越しいただけるよう、日々様々な活動を行い、地元三田を盛り上げている。



大賞

地域連携部門

UTSURI TSUCHIYA ANNEX（豊岡市）

代表者 山田 希美子



城崎温泉街にあった旧城崎消防署を改修し、カフェ、ギャラリー（城崎出身の日本画家山田毅氏の風景画を展示）、ミュージアムショップを併設した泊食分離型の宿泊施設にリノベーションした。カフェはランチタイムだけでなく、外国人を主とする宿泊客のモーニングの場所として開放している。

温泉街の賑わい創出、ニーズに合ったカフェ営業、住民等のコミュニティスペースとして地域に大いに貢献している。



優秀賞

マルオ洋品店（稲美町）

代表者 丸尾 倫一



終戦後、現代表の祖父が単車で行商を始め、昭和41年に衣料品店として開業。最近では、子供から大人が頭を使って楽しめる世界の「ボードゲーム」を商品ラインナップに加え、店舗2階の倉庫をレンタルスペースに改装し、ボードゲームユーザーが気軽に集まれるサービスを実施。定期的に、ボードゲーム大会を主催することで、地域のコミュニティづくりにも貢献している。



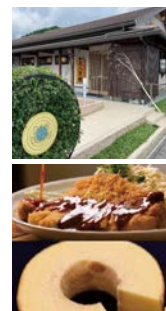
優秀賞

大八万楼 / ダイハチバウム（多可町）

代表者 渡辺 仁康



中華料理店が発祥の「とんかつ専門店」として多可町のグルメ業界を長年牽引してきたが、事業再構築補助金を活用して、テイクアウト専用窓口を設けた自社店舗を新たにオープンした。併せて店舗内でバウムクーヘン専門店「ダイハチバウム」をオープンさせ、「とんかつ」と「バウムクーヘン」の異色コラボにより、代表と娘が二人三脚で取り組む店舗経営は、個店の魅力向上による商店街の活性化に繋がっている。



入賞

とんかつ ひぐち（戸屋市）

代表者 樋口 晴男



既存事業の『うなぎ割烹 戎家』は長らくコロナ禍の影響や国産うなぎの高騰により先行きの見えない状況の中、新たに『とんかつ専門店』を開業させた。カウンターのみ店内レイアウトにするなど外部環境の変化にも対応できる仕組みづくりを行っている。



入賞

Drink Stand Komati（加東市）

代表者 小林 吉人



昭和17年に事業を開始して以来、ガソリンスタンド事業を営んできた。近年では、令和4年に脱毛サロン事業、令和5年にカフェ事業、コワーキングスペース事業をオープンさせ、新規事業を積極的に展開することで、新規顧客獲得に取り組んでいる。



信用保証で、このまちの
中小企業・小規模事業者を応援します

兵庫県信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN

〒651-0195 兵庫県神戸市中央区港花162-1
TEL: 078-393-3900
//www.hosyokyo-kai-hyogo.or.jp/

5月のこよみ

7日(水) 監事会
8日(木) 正副会長会
9日(金) 壮青年部通常総会
29日(木) 理事会・通常総会



6月のこよみ

6日(金)~7日(土)
チーフコーディネーター研修連絡会
7日(土) 県職協 通常総会
経営支援事例発表大会



あなたのまちの
元気な企業 ✨

地域に必要な移動手段として安全を最優先に「安心」と「快適」をご提供
社会実装可能なビジネスモデルの構築及び社会受容性の向上への取組

全但バス株式会社
養父市

全但バス株式会社は、1917年(大正6年)10月、養父郡口大屋村(現養父市大屋町)に「南但自動車株式会社」として創業された。

1938年(昭和13年)以降、但馬地域の旅客輸送事業を統一し、1947年(昭和22年)、豊岡と神戸を当時国内最長路線の直通運行を開始し、それ以降、但馬各地より神戸、大阪への路線を拡大した。

1978年(昭和53年)に社名を現在の「全但バス株式会社」に変更し、平成29年には創立100周年を迎えた。

「地域貢献・未来創造～笑顔と信頼で地域を結び～」を企業理念に、本社(養父市)を核として、3営業所と5出張所を構え、従業員は約355名で、保有車両は144両(乗合116両/貸切26両/特定2両)と、但馬地域の重要な交通手段として事業活動をしている。



創業者の田中寛氏(左写真)は、兵庫県商工連合会初代会長でもあり、県下の経済発展への取組だけでなく、兵庫県商工会館の土地を寄付する等、地域貢献も積極的に行った。

業界の課題解決の取組と働きやすい環境づくり

運送業界における人手不足、燃料費の高騰等の課題に加えて、地域の課題として過疎化の進展による利用者数の減少もある。

そのような状況の中、地域の方々にバス事業を身近に感じてもらうように、県内外のバス事業社と共同でイベント(バスフェスティバル)や運転体験会等も実施し広報活動を行っている。

人手不足の解消として、企業合同説明会を開催、ハローワークや地元の高校等にも採用活動を行っている。

人材育成にも力を入れており、充実した研修制度や大型2種免許取得の支援、乗務員として技術だけでなく接客などサービス面の育成もしており、地域にとって重要な交通手段を安全に運行する人材を創出している。

また、近年では男女を問わず働きやすい環境を整備し、女性の乗務員も活躍している。



長距離移動を寛げ楽しむ空間へ

同社は一般路線の他、神戸、大阪方面への高速バスも運行しており、2012年12月から、新たなサービスとして「最高クラスのバスの旅をすべての人に」と銘打ち、同型車両で西日本初の導入である上質で高い快適性を備えた全但高速バス「LuxRea(ラグリア)」のサービスを開始した。

2021年12月からは更に完全個室の「グリーンルーム」の提供も開始し、高速バスなのにプライベートな空間を満喫できる「バスのグリーン席」は評判も良く人気も高い。



導入時に愛称を募集し、豪華なことを意味する「Luxurious」とリラックスする「Relax」との造語で、「LuxRea(ラグリア)」という名称になった。

新たな安全への実証実験 ～目指すは完全自動運転～

交通事故の主な原因は、運転手による操作ミス等のヒューマンエラーの要因が多いことから、完全自動運転を実用化することで、交通事故の軽減につながると考えられる。

そこで、同社は2025年1月27日～3月31日の間、行政と連携し、レベル5(完全自動運転)実用化を目標にレベル2(部分的自動運転)でJR八鹿駅～スーパーセンタートライアル養父店へ無料で1日往復4便運行する認証実験を行った。

車両はAuve Tech社(エストニア共和国)製EV「MiCa」を使用、定員8名(うち1名オペレーター)、国内の安全基準をクリアしており静かで環境にも優しい。

システムが一部の運転タスクを支援しており、運転席は無くオペレーターが運転を監視し、何かあれば手元のコントロール機で操作を行う。

利用した方からは、運転席もなくはじめは驚いたが静かで動きもスムーズ、将来が楽しみである等の感想が寄せられ、実用化に向け大きな期待が寄せられている。



取材先
概要

事業所名 全但バス株式会社
代表者 村上 宣人
住 所 養父市八鹿町八鹿113-1

TEL 079-662-2131
URL <https://www.zentanbus.co.jp/company/>



商工会の紹介ページ

養父市商工会



会長
世登 道徳
有限会社五光
取締役

平成17年4月に旧4町（八鹿町・養父町・大屋町・関宮町）の商工会が合併し養父市商工会が誕生しました。

養父市は兵庫県北部の但馬地域の中央に位置し、かつては但馬地域の交通の要衝でありました。また鎌倉時代に建てられたと言われている兵庫県内でも数少ない現存する三重塔の名草神社や県下最高峰の氷ノ山など自然環境と歴史、文化が調和した魅力的な地域です。

そのような環境を活かし、養父市商工会では観光事業としてハチ高原の新たな魅力創出に向け、阪南大学国際観光学部と産学連携事業を実施しています。

また販路開拓支援として東京・大阪を

商工会概要

中心に新規顧客の獲得、売上増加を図る目的で地域商工業者を取りまとめ、展示会への出展支援を毎年実施しています。

令和6年度はDX支援として事業所の従業員確保の問題を解決するために人材確保に向けた動画活用事業と事業所の新たなチャンネルとして活用できるようにライブ配信による販路開拓事業を実施するなど、商工業者の経営課題や地域の問題解決に取り組んでいます。

その他にも委員会活動や支部活動に力を入れ、会員間の交流、ネットワークづくりの強化を行っています。これからも養父市商工会は身近な伴走者として、地域の課題に取り組んでいきます。

地域情報

養父市は、兵庫県の首ねっこに位置し、市の東部を一級河川円山川が南東から北東の方向に流れ、その支流の八木川に沿って八鹿、関宮地域、大屋川に沿って養父、大屋地域が位置しています。西部には県下最高峰の氷ノ山や鉢伏山、ハチ高原、若杉高原が、北部には妙見山がそびえるなど、雄大で美しい自然に囲まれています。

かつては生糸商や近畿諸国における但馬牛取引の拠点として栄え、紡績工場なども進出し、商工業が発展しました。また、氷ノ山・鉢伏などの一帯は、古くから拓かれたスキー場があり、京阪神や中国・四国圏におけるスキー・スノーボー

ドなどアウトドアスポーツや合宿の拠点となっています。

平成26年に「国家戦略特区」に指定され、人口減少と高齢化の進展・農業の担い手不足と耕作放棄地の増加を解決するため、企業による農地取得の特例や、農業分野での第2創業・6次産業化の促進など、農業の活性化に力をいれています。また、金属加工や、地域資源を活用した特産品の製造販売など、農業と商工業がバランスよく発展しています。こうした産業の多様性を活かしながら、養父市は持続可能な地域づくりを推進し、より魅力的なまちを目指しています。



く美しい日本の原風景
「別宮の棚田」

兵庫県最高峰の山 >
「氷ノ山」



く 朝倉山椒

但馬牛 >



写真提供 (C) 養父市観光協会



養父市商工会

〒667-0021 養父市八鹿町八鹿 1672
TEL: 079-662-7127

(令和7年4月1日現在)

出 研 向 修	復職先名	職 階 等	氏 名	異動元商工会名
	県連合会	事務局次長	森添 純代	全 国 連

(令和7年4月1日現在)



緑の募金へのご協力をお願いいたします

緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子供たちの環境学習などに活用しています。

●お振込みの場合●

郵便局：手数料不要の払込用紙をお送りしますので、当協会までご一報ください。

銀行：三井住友銀行 兵庫県庁出張所 普通 3198438（手数料が必要です）

公益社団法人兵庫県緑化推進協会

●賛助会員入会のご案内●

私たちの活動を応援してくださる賛助会員を募集しています。

入会金は不要です。会員としてご支援いただきますようお願いいたします。

（1口 10,000円／年）

公益社団法人兵庫県緑化推進協会 TEL 078-341-4070

新規採用職員紹介

New staff 

加東市商工会 山本 浩貴

4月より加東市商工会に配属されました。前職では不動産仲介業務や司法書士事務所での業務に携わっておりました。まだまだ未熟者ではありますが、業務内容をしっかりと学び、一日でも早く会員の皆様のお力になれるよう精進してまいります。



福崎町商工会 山田 奈津美

4月から福崎町商工会でお世話になっております。生まれ育った兵庫県で地域に広く貢献できる仕事がしたいと思い、商工会職員となりました。仕事・関わる方・地域を知り、お役に立てる職員となれるよう、一步一步努力してまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。



たつの市商工会 沖田 輝

この度4月よりたつの市商工会に配属になりました。前職では滋賀県にて地域貢献を行っておりました。力不足な点もありますが、いち早く業務を覚えて地域活性化に向けて貢献出来るよう日々尽力させていただきます。



宍粟市商工会 横路 江理

4月より宍粟市商工会に配属となりました。これまで会計事務所や社会福祉法人等にて経理をしておりました。まだまだ知識不足で至らぬ点ばかりですが、1つずつ業務内容を学びながら、地域に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



豊岡市商工会 衣川 七菜

この4月から豊岡市商工会に配属されました。商工会の業務をしっかりと学び、一つの業務に丁寧に取り組んでまいります。これまで培ったコミュニケーション能力を活かし、地元豊岡市に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



丹波市商工会 小山 祐哉

今年度より丹波市商工会に配属になりました。丹波市出身で、地元への貢献を大切に地域の事業所の皆様に寄り添った提案や活動ができるよう日々努力し、精一杯頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



淡路市商工会 平山 由愛

この度、淡路市商工会でお仕事をさせていただくことになりました。たつの市で生まれ育ち、南あわじ市に住んで十数年になります。自然が豊かで地域の人と人との結びつきが強い兵庫県が大好きです。「兵庫は一つ 地域のために」を合言葉に、明るく元気に頑張ります。



県連合会 松岡 晃平

本年度より、県連合会・広域指導センターに配属となりました。これまで金融機関で培った経験を活かし、地域事業者の皆さまを支える商工会の活動を、縁の下からしっかりと支援してまいります。今後、各商工会の取り組みがより効果的に展開されるよう尽力し、地域の活性化に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



協会けんぽ兵庫支部 加入者・事業主の皆さまへ

令和7年3月分(4月納付分)からの協会けんぽの保険料率についてお知らせします

令和7年度の協会けんぽの健康保険料率及び介護保険料率は、本年3月分(4月納付分)からの適用となります。皆さまのご理解をお願い申し上げます。

	令和7年2月分(3月納付分)まで		令和7年3月分(4月納付分)から
健康保険料率	10.18%	変更	10.16%
介護保険料率	1.60%	変更	1.59%

ひょうご産業SDGs推進宣言事業ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業） 中間結果報告

❖ 県連合会もSDGs認証企業（アドバンスト）・フレッシュミモザ企業に認定！

ひょうご産業SDGs推進宣言事業

SDGsの達成に向けて取り組む県内中小企業等の宣言内容を登録・集約し、広く社会に公表することにより、企業等の取り組みを支援する制度。

令和7年度末の県下商工会地区の企業の登録目標を1,972件としていたが、令和6年12月31日時点で合計2,098件の登録があった。（市町独自制度50件分含む）

令和7年1月で、県下では27商工会が宣言、16商工会が認証の登録済であり、県連合会もアドバンストの認証登録の承認を受けた。



ミモザ制度

女性活躍推進に向けた進捗状況や課題を把握し、一定の基準に達した企業等を認定し、広く公表する制度。

令和7年度末までに県下商工会における目標を2社としていたが、令和7年2月時点で合計82社の認定があり、令和7年2月、県連合会もフレッシュミモザ企業に認定された。



商工会発行研修用冊子

「必要とされ続ける企業になるために」より

中小企業の為のSDGsの使い方

最終回

5. SDGs をさらに効率的に活用するために ～SDGs宣言・認証のススメ～

兵庫県では、県内の中小企業に対し、SDGsの普及啓発を行うとともに、SDGsの達成に向けて取り組む中小企業を支援するため、「ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業」を実施しています。

上記の中間結果報告にも記載のとおり、県下商工会地区では既に多数の企業が宣言・認証を受けています。

登録過程で自社の取り組みを振り返ることで、生産性の向上、さらに将来的には事業収益の確保につながります。また、社内外への発信に活用することで、従業員の確保にもつながることが期待できます。

未申請の事業者も、まずは17の項目から目指す目標を設定して自社の可能性を広げてみてはいかがでしょうか。



宣言登録メリット

- ・登録証の交付
- ・ひょうご産業活性化センターのホームページで登録企業を紹介
- ・専用ロゴマークを使用可能
- ・SDGsの推進に関して、専門家派遣による経営支援に係る助成が可能（1/2負担、最多8回まで）
- ・兵庫県信用保証協会の保証料率の割引あり

認証登録メリット

- ※認証企業（スタンダード）のメリット：①②
- ※認証企業（アドバンスト）のメリット：①②③
- ※認証企業（ゴールド）のメリット：①②③、④～⑥の内いずれか1つ

- ① 知事名による認証書が交付されます。
- ② 中小企業融資制度の低利融資「SDGs支援貸付」が利用できます。
- ③ 兵庫県信用保証協会による社債発行の際の保証料率の割引があります。
- ④ 大規模展示会（東京ビッグサイト等）へ優先出展できます。
- ⑤ 就活学生向け合同企業説明会へ優先出展できます。
- ⑥ 企業のSDGsの取組をPRする動画を学生が製作します。

<https://web.hyogo-iic.ne.jp/sdgs/>



第3回 チーフコーディネーター研修連絡会

2月3～4日、第3回チーフコーディネーター（以下、CC）研修連絡会を開催した。

今回の研修は、第5期最後の研修であった。1日目の午前は、今年度の第1回研修の継続で経営力再構築伴走支援の実践をテーマに芦屋市商工会の西畑氏、多可町商工会の横畑氏、宍粟市商工会の飯田氏が、実際に支援している事業者（3者）へ事業課題解決に向けた提案内容を共有し、その支援手法、提案内容についてチーフアドバイザーの橋本氏、七森氏に講評いただいた。

午後からは稲垣氏からAIを活用した経営支援の可能性について講義いただいた。実際にスマホを使って様々なAIを操作し、日々の経営支援での活用可能性についてグループで検討した。

2日目は、各CCの昨年度の経営支援事例を発表し、CC間で共有、最後に今期の活動の振り返りとして「研修の中で最終的に今期の活動の成果物が残る活動をしたかった」、「もっとCC間で議論できる研修内容にしたかった」など、それぞれの反省点の共有もあり、次期CC研修における課題としたい。